

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-370726

(43)Date of publication of application : 24.12.2002

(51)Int.Cl.

B65D 5/38
B65D 5/06
B65D 5/52
B65D 5/54
B65D 85/57
G11B 23/03

(21)Application number : 2001-273261 (71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 10.09.2001 (72)Inventor : SUGAYA SACHIKO
KURATA RYUICHI
MASATOKI TAMIJI

(30)Priority

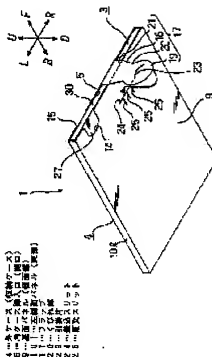
Priority number : 2001114840 Priority date : 13.04.2001 Priority country : JP

(54) STORAGE CASE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To keep contents received even in a simple structure and prevent them from easily dropping from a storage case.

SOLUTION: An outer case (storage case) 4 is formed by folding a cardboard, formed with an inner case insertion port 5 (opening) on a front rim and designed to allow an inner case 3 supporting contents (CD 2 and a leaflet 6) to be put in/out of the insertion port 5. A flap 17 is made to extend for covering the port 5 by folding on a base panel 9 of two base panels 9 or upper panels 8 which constitute the insertion port 5 and face each other, and an insertion slit 24 into which the flap is inserted is formed on the upper face panel.



[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-370726

(P2002-370726A)

(43) 公開日 平成14年12月24日 (2002. 12. 24)

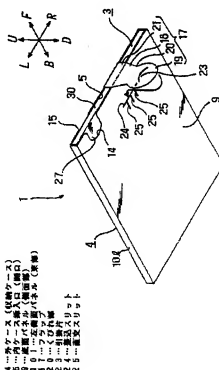
(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
B 6 5 D 5/38		B 6 5 D 5/38	Z 3 E 0 3 6
			D 3 E 0 6 0
	5/06	5/06	A
	5/52	5/52	L
			M
審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 23 頁) 最終頁に続く			
(21) 出願番号	特願2001-273261(P2001-273261)	(71) 出願人	000002185
(22) 出願日	平成13年9月10日 (2001. 9. 10)		ソニー株式会社
(31) 優先権主張番号	特願2001-114840(P2001-114840)		東京都品川区北品川 6 丁目 7 番35号
(32) 優先日	平成13年4月13日 (2001. 4. 13)	(72) 発明者	菅家 さち子
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		東京都品川区北品川 6 丁目 7 番35号 ソニ
			一株式会社内
		(72) 発明者	藤田 竜一
			東京都品川区北品川 6 丁目 7 番35号 ソニ
			一株式会社内
		(74) 代理人	100069051
			弁理士 小松 祐治
最終頁に続く			

(54) 【発明の名称】 収納ケース

(57) 【要約】

【課題】 構造が簡単であるにも拘わらず、収納物の収納状態を保持し、容易に収納ケースから落下しないようにする。

【解決手段】 厚紙を折り畳んで形成され、前側縁に内ケース挿入口5（開口）を形成し、該内ケース挿入口5により収納物（CD 2 及び小冊子6）を支持した内ケース3の出し入れを行う外ケース（収納ケース）4であって、上記内ケース挿入口5を構成するとともに互いに対向する2つの底面パネル9又は上面パネル8のうち、底面パネルに、折り曲げることで上記内ケース挿入口5を覆うフラップ17を延設し、上面パネルに上記フラップを差し込む差込スリット24を形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シート状部材又は板状部材を折り畳んで形成され、一の側縁に開口を形成し、該開口により収納物の出し入れを行う収納ケースであって、上記開口を構成するとともに互いに向向する2つの側面部のうち、一方の側面部の開口縁に、折り曲げることにより上記開口を覆うフラップを延設し、他方の側面部に上記フラップを差し込む差込スリットを形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項2】 請求項1に記載した収納ケースであって、フラップは延出方向の中間部にくびれ部を形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項3】 請求項1に記載した収納ケースであって、上記くびれ部にギザギザ部を形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項4】 請求項1に記載した収納ケースであって、上記差込スリットにほぼ直交し、該差込スリットに到達する直交スリットを形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項5】 請求項1に記載した収納ケースであって、上記フラップに引掛片を形成し、該引掛片を上記差込スリット又はこれに近傍する位置に形成した別のスリットに引っ掛けるようにしたことを特徴とする収納ケース。

【請求項6】 請求項1に記載した収納ケースであって、フラップで開口の一部を覆うようにしたことを特徴とする収納ケース。

【請求項7】 請求項1に記載した収納ケースであって、収納ケースの開口を除く周縁部に東部を設けたことを特徴とする収納ケース。

【請求項8】 請求項1に記載した収納ケースであって、収納物を内ケースに保持させ、該内ケースを抜き差しするようにしたことを特徴とする収納ケース。

【請求項9】 請求項8に記載した収納ケースであって、収納ケースに対して内ケースが抜け落ちないようにする抜け落ち防止手段を設けたことを特徴とする収納ケース。

【請求項10】 請求項9に記載した収納ケースであって、抜け落ち防止手段が、収納ケースの内側に折り曲げた折曲片と内ケースの外側に折り曲げ上記折曲片に係合する係止片とにより構成されたことを特徴とする収納ケース。

【請求項11】 請求項10に記載した収納ケースであって、

収納ケースの内側に折り曲げた折曲片に前記フラップを打ち抜き状に形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項12】 請求項1に記載した収納ケースであって、収納ケースが記録媒体用ケースであることを特徴とする収納ケース。

【請求項13】 請求項1に記載した収納ケースであって、板状部材が板紙であることを特徴とする収納ケース。

【請求項14】 請求項7に記載した収納ケースであって、

東部の一部に窓を設けたことを特徴とする収納ケース。

【請求項15】 請求項14に記載した収納ケースであって、

東部の一部に設けた窓を開閉する蓋体を一体に形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項16】 請求項8に記載した収納ケースであって、

収納された前記内ケースの一部を視認できる窓を設けたことを特徴とする収納ケース。

【請求項17】 請求項16に記載した収納ケースであって、

収納された前記内ケースの一部を視認する窓を開閉する開閉蓋を一体に形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項18】 請求項1に記載した収納ケースであって、

前記フラップが設けられた一方の開口縁と開口を挟んで対向する他方の開口縁に該開口のほぼ全面を覆う密封用フラップを設けたことを特徴とする収納ケース。

【請求項19】 請求項18に記載した収納ケースであって、

上記密封用フラップが設けられた開口縁に該密封用フラップを離脱することができる易破断線を形成したことを特徴とする収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、CD (compact disk)、DVD (digital versatile disk) 等のディスク状記録媒体、テープ状記録媒体や半導体メモリなどのメディアほか、各種カード、薄型又は粒状の菓子類など、比較的薄肉の割に表面積の大きな物品の収納に用いられる収納ケースに関し、構造が簡単であるにも拘わらず、収納物の収納状態を保持し、容易に収納ケースから落下しないようにする技術に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、収納ケース、例えば、CDケースは一一般的にプラスチック製のものが多く、プラスチックは軽量、高強度で成形性が良好であるため、広く用いら

れている。

【0003】ところで、このようなプラスチックのCDケースは、CDを載置するための基台側ケースと、該基台側ケースに対して回動自在に支持された回動蓋とから成る。

【0004】このような従来のCDケースにあつては、一方のケース（基台側ケース）に対して他方のケース（回動蓋）を回動するようにしているため、ヒンジ部が必要であり、その構造は通常、凹凸嵌合部を左右両側部に形成するのが一般的であつた。

【0005】また、CDケースでないが、一側縁を開口させ袋状とした収納ケースがあり、該収納ケースは収納物をその開口から収納するようになっている。かかる収納ケースは構造が極めて簡単で、板紙などを折り畳み或いは一部を接着するだけで構成することができるため、安価に製造することができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前者のCDケースにあつては、ヒンジ部が比較的もろく、破損しやすく、破損してしまうと、そのCDケースは最早、ケースとしての機能を喪失してしまうという問題がある。

【0007】後者の収納ケースにあつては、特に開口を覆うのがないため、容易に収納物が出てしまい、これを損傷、破損する危険性があるという問題がある。

【0008】このような収納ケースにその開口を形成する一側縁にフラップを形成するものもあるが、フラップを折ってその開口を覆っただけでは、開口を下方に向けたり、収納ケースを揺すったりするだけで、収納物が開口から容易に出てしまう危険性が極めて高かつた。

【0009】特に、当該収納ケースを外ケースとし、該外ケースに対して内ケースをスライド自在に設けて、内ケースに収納物を支持させたものが、たとえば、菓子類の収納ケースとしてあるが、これらはすべて、内ケースを外ケースに対して収納した状態でラッピングなどを施し、内ケースの外ケースからの飛び出しを防止しなければならなかつた。

【0010】さらに、上述したフラップをスナップ釦或いはペローズなどにより、他方の側面に係着することが考えられるが、このようにすると、折角安価に製造できるものが高価になってしまうという問題があつた。

【0011】また、プラスチック材料を主材料とする収納ケースにあつては、有限資源とされる化石燃料（石炭、石油）を原料とする上、熱効果性樹脂を使用するため、リサイクルが難しいという環境保全上の問題もある。

【0012】そして、本発明は、構造が簡単であるにも拘わらず、収納物の収納状態を保持し、容易に収納ケースから落下しないようにすることを課題とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明収納ケー

スは、上記した課題を解決するために、シート状部材又は板状部材を折り畳んで形成され、一の側縁に開口を形成し、該開口により収納物の出し入れを行う収納ケースであつて、上記開口を構成するとともに互いに対向する2つの側面部のうち、一方の側面部に、折り曲げることにより上記開口を覆うフラップを延設し、他方の側面部に上記フラップを差し込む差込スリットを形成したものである。

【0014】したがって、本発明収納ケースによれば、簡単な構造であるにも拘わらず、収納ケースに収納した収納物の落下を防止することができる。

【0015】また、紙を使用した収納ケースにあつては、リサイクルが可能で環境保全に役立つというメリットがある。

【0016】

【発明の実施の形態】以下に、本発明収納ケースの詳細を添付図面に示した各実施の形態に従つて説明する。なお、図面に示した各実施の形態は、本発明をCDケースに適用したものである。

【0017】図1乃至図19は、本発明にかかる収納ケースの第1の実施の形態を示すものである。

【0018】第1の実施の形態にかかるCDケース1は、CD2を保持する内ケース3と、該内ケース3をスライド自在に収納する外ケース4からなり、外ケース4の一側面に形成された内ケース挿入口5から上記内ケース3が挿入されるようになっており、したがって、本発明「収納ケース」は、CDケース1の「外ケース4」に相当するものである。また、上記「内ケース挿入口5」は請求項1に記載した「開口」に相当する。

【0019】かかるCDケース1はCD2の他、CD2に関する情報、たとえば、CD2がいわゆる音楽CD2である場合には歌詞カード、解説冊子、また、コンピュータプログラムやゲームソフトが記録されたいわゆるCD-ROMである場合にはその使用説明書等の小冊子6も収納できるようになっている。

【0020】なお、本発明はCDケース1に限らず、他のメディア、たとえばDVD等のディスク状記録媒体のほかテープ状記録媒体や各種半導体メモリなどのメディアを収納するいわゆるメディアケースでも良く、また、各種カード、薄型又は粒状の菓子類などを収納する収納ケース一般に広く適用することができる。

【0021】CDケース1の上記内ケース3及び外ケース4はともにそれぞれ所定の形状に打ち抜かれた板紙を折り畳んで形成されている。なお、内ケース3及び外ケース4は板紙に限らず、比較的可撓性のあるプラスチックや比較的「腹」の強いビニル系樹脂などであっても良い。さらに、環境問題を考慮するとき、再生紙を用いた板紙であることが好ましい。

【0022】図1は、外ケース4から内ケース3を引き抜いた状態を示す斜視図で、CDケース1としては組み

立て途中の状態であり、図2は、CDケース1として組み立て、さらに、内ケース3を外ケース4内に収納した状態を示す斜視図である。

【0023】なお、各図において矢印で示す、U方向、D方向、L方向、R方向、F方向、B方向は、それぞれ、上方、下方、左方、右方、前方、後方を意味するものとする。また、本明細書において示す上記方向性は、上記CDケース1の内ケース3にCD2を保持させる面を「載置面」と呼称するため、これを基準にその方向性を規定するものであり、あくまでもCDケース1を本明細書において説明するための便宜上のものである。

【0024】外ケース4は、図3に示す形状の板紙を打ち抜いて形成したブランク（以下「外ケース側ブランク」という。）7を折り畳んだ後、所定の箇所を接着して形成される。

【0025】具体的には、外ケース側ブランク7は、主に、上面パネル8と、底面パネル9と、3つの側面パネル10（左側面パネル101、右側面パネル10r、背面側面パネル10b）とから成り、上面パネル8及び底面パネル9は上記CD2の直径よりやや大きな辺を有するほぼ正方形を呈し、各側面パネル101、10r、10bはCD2及び小冊子6の両方の厚さを足したもののより幅広に形成されている。なお、上記「上面パネル8」及び「底面パネル9」はそれぞれ請求項1に記載した「2つの側面」に相当する。また、上記「側面パネル10（左側面パネル101、右側面パネル10r、背面側面パネル10b）」はともに、請求項7に記載した「東部」に相当する。

【0026】また、上面パネル8の前端縁にはほぼ台形状をした脱落防止片11が一体に形成され、また左右両側面パネル101、10rには上記底面パネル9に接着されるのりしろ12、12が一体に形成されている。なお、かかる「脱落防止片11」は請求項10に記載した「折曲片」に相当する。

【0027】そして、外ケース側ブランク7のこれら各パネル8、9、101、10r、10b、脱落防止片11及びのりしろ12、12は図3で示すように折線13a、13b、13c、13d、13e、13f、13gにより連結されている。なお、図3は外ケース側ブランク7を底面側から見たものであり、したがって、上記折線13a、13b、13c、13d、13e、13f、13gは山折線となっており、これを1点鎖線で示す。また、後述するが、図面上「谷折線」を示すときは2点鎖線で示すものとする。

【0028】底面パネル9の先端縁のうち左端部に寄った位置に切欠部（以下「底面切欠部」という。）14が形成され、また、上面パネル8の先端縁のうち左端部に寄った位置であって、当該外ケース側ブランク7を組み立てたときに上記底面切欠部14に対応する位置に折線13gを挟むように円形の切欠部（以下「上面切欠部」

という。）15が形成されている。

【0029】また、上記脱落防止片11の左右中央部よりやや右方へ寄った位置には、U字状の切り込み線16が形成され、該切り込み線16に囲まれた部分がフラップ17として形成されており、該フラップ17は上面パネル8と脱落防止片11との折線13gにより上面パネル8と連結され、したがって、フラップ17は脱落防止片11とは別体ものになるようになっている。

【0030】このように、フラップ17を脱落防止片11に切り込み線16を形成することにより構成したので、外ケース側ブランク7として余分な突出部を少なくすることができ、材料費の削減に寄与する。

【0031】また、フラップ17の左右側縁は扁平な三角状に切除されて、上記折線13g側に位置した基端部18と、先端側にはほぼ円形をした差込部19と、基端部18と差込部19との間のくびれ部20とを備えた形状にされ、基端部18のうち上面パネル8との折線13gから上記側面パネル10の幅とほぼ同じ距離の位置に折線13hが形成されていて、該折線13gと上記折線13hとの間の部分が後述する外ケース4の内ケース挿入口5を覆う覆い部21となっている。

【0032】フラップ17の差込部19のうちくびれ部20側に寄った位置には前方に開口する弧状の切り込み線22が形成され、該切り込み線22の形成により後方に伸びる扁平な引掛片23が形成されている。なお、ここでいう「前方」「後方」とはフラップ17の2つの折線13g、13hをともに90°折り曲げて覆い部21により内ケース挿入口5を覆った状態におけるものである。

【0033】底面パネル9の先端縁のうち左右中央部よりやや右方へ寄った位置であって、当該外ケース側ブランク7を組み立てたときに上記フラップ17に対応する位置に左右方向に伸びる切れ目（以下「差込スリット」という。）24が形成されており、該差込スリット24の長さ以上上記フラップ17の差込部19の左右幅とほぼ同じか又はやや小さく形成されている。これは、フラップ17の差込部19を差込スリット24に差し込み後、フラップ17が容易に抜けにくいようにするためである。なお、フラップ17の差込部19を差込スリット24に差し込むときは、両端を指で挟んで湾曲させて押し込むようにすると容易に差し込むことができる。

【0034】また、上記差込スリット24には、後方に向かつて3本のスリット（以下「直交スリット」という。）25、25、25が形成されている。

【0035】しかし、このように形成された外ケース側ブランク7は、各折線13a、13b、13c、13d、13e、13f、13gを折り曲げることにより、一方の前側面が開口した扁平な薄型の箱体に組み立てられる。

【0036】すなわち、先ず、脱落防止片11をその折

線13gにしたがって180°折り畳みんで、上面パネル8の内側面に沿わせるようにする。

【0037】次に、図3に示す各折線13a、13b、13c、13d、13e、13fをほぼ90°折曲げ、底面パネル9の左右側部と上記のりしろ12、12とを接着剤にて接着し、これにより、外ケース側ブラック7は前方に開放した扁平な薄型箱体をした外ケース4に組み立てられる(図4参照)。なお、このとき、上記フラップ17は折り畳まず、外ケース4の開口縁から前方に突出するように位置されている。

【0038】なお、脱落防止片11の折り畳みは上記各折線折線13a、13b、13c、13d、13e、13fにしたがって各パネル8、9、101、10r、10bを折り畳んで、扁平な薄型箱体を組み立てた後、該薄型箱体内に折り畳むようにしても良い(図5参照)。

【0039】そして、上記フラップ17は後述する内ケース3を外ケース4内に収納した後、その折線13g、13hをそれぞれほぼ90°折曲げてその差込部19を上記差込スリット24に差し込むようになっている。

【0040】内ケース3は、図6に示す形状の板紙を打ち抜いて形成したブラック(以下「内ケース側ブラック」という。)を折り畳んで成形される。

【0041】具体的には、内ケース側ブラック26は、主に、内ケース3の底板となるほぼ矩形的内ケース底面パネル27と、該内ケース底面パネル27を挟んで一方側にCD2が載置されるCD載置パネル28と、他方側にCD2が内ケース3から離脱しないようにするための抑えパネル29と、内ケース底面パネル27と抑えパネル29との間に位置する内ケース側面パネル30とから成り、これらパネル(内ケース底面パネル27、CD載置パネル28、抑えパネル29及び内ケース側面パネル30)の左右幅寸法は上記外ケース4の左右内法寸法とほぼ同じか又はやや小さく形成されている。

【0042】そして、内ケース側ブラック26のこれら各パネル28、29、30は図6で示すように折線31a、31b、31cにより連結されている。なお、図6は内ケース側ブラック26を底面側から見たものであり、したがって、上記折線31a、31b、31cは山折線となっていて、これを1点鎖線で示す。

【0043】内ケース底面パネル27とCD載置パネル28との間には、上記折線31aを断して、両パネルに掛かり、内ケース底面パネル27側に開口するほぼコ字状の切り込み線32が形成され、該切り込み線32に開まれた部分が係止片33として形成されている(図6参照)。さらに、係止片33の基端側には2本の折線34a、34bが形成され、それぞれの折線34a、34bをほぼ90°折曲げると係止片33をCD載置パネル28の上方に位置させることができるようになっており(図9参照)。当該内ケース3を外ケース4内に収納したときに該係止片33が上記外ケース4の脱落防止片

11に係合して、外ケース4から抜け出ないようにしている。なお、かかる「脱落防止片11」と「係止片33」とが、請求項9に記載した「抜け落ち防止手段」に相当する。

【0044】CD載置パネル28の上記内ケース底面パネル27と連結された側と反対側の多くの部分はCD2とほぼ同じ大きさの円形をしており、また、内ケース底面パネル27側に寄った左右両縁部には、舌片状の翼片35、35がそれぞれ形成されており、これら翼片35、35は折線36、36、36'、36'を介してCD載置パネル28に連結されている。なお、図6においてはかかる折線36、36、36'、36'のみが谷折線となっている。また、翼片35、35の折線36、36、36'、36'は、CD載置パネル28にCD2を載置したときに、そのCD2の外周縁よりやや外側に近接して位置するように形成されている。

【0045】また、折線36、36、36'、36'の間の間隔hはCD2の厚さh'とほぼ同じか又はやや大きく形成されており、折線36、36、36'、36'を折り曲げたときにCD載置パネル28と翼片35との間隙にCD2が位置するようになっている。また、係止片33の基端側に形成した2本の折線34aと34bとの間も間隔hに形成されている。

【0046】そして、このように形成された内ケース側ブラック26は、各折線31a、31b、31cを折り曲げることにより、各パネル27、28、29が重ね合わされて上記小冊子6を収納する部分と、CD2を収納する部分とに分けられて構成される内ケース3が完成される。

【0047】すなわち、まず、内ケース底面パネル27上に小冊子6を載せ(図7参照)、上記CD載置パネル28をその折線31a、31aにしたがってほぼ180°折り畳む(図8参照)。このとき、翼片35、35をCD載置パネル28に対してほぼ90°折曲げておく(図8参照)。なお、小冊子6の厚さd'とほぼ同じ間隔dを有する折線31a'を形成し、該折線31a'を、ほぼ直角に折り曲げるようになっている。これにより、厚さd'を有する小冊子6は内ケース底面パネル27とCD載置パネル28との間の挟まれ、かつ、小冊子6を収納したときにCD載置パネル28および抑えパネル29の変形を防止し、これらの変形によって生じるであろうCD2への圧迫を防止することができる。したがって、CD2の反り(スキュー)の発生を防止することにも貢献する。

【0048】次に、抑えパネル29及び係止片33をこれらの折線31b、34aにしたがって内ケース底面パネル27に対してほぼ90°折曲げ、この状態でCD2をCD載置パネル28上に載置する(図9参照)。

【0049】最後に、抑えパネル29、係止片33及び各翼片35、35をこれらの折線31c、34b、3

6、36、36'、36'にしたがって折り曲げると、CD2及び小冊子6を支持した状態の内ケース3が完成される(図10参照)。勿論、CD2及び小冊子6は、内ケース側ブラント26を折り畳み途中で挟むのではなく、内ケース3を組み立てた後、これらの各パネル28、29、30を開いて、各パネル28、29、30間にCD2及び小冊子6を挟むようにしても良い。

【0050】そして、係止片33の折線34a、34bと抑えパネル29の折線31b、31cとの間の間隔がCD2の直径とほぼ同じ又はやや大きく形成されているため、内ケース3に支持されたCD2はその前後方向の移動が抑止され、また、左右の翼片35、35の折線36、36、36'、36'がCD2の外周縁に近接するように設けられているため、CD2の左右方向の移動も抑止されるようになっており、これにより、CD2を支持した内ケース3を後述するように外ケース4に収納したときに、外ケース4内でCD2がカタカタと動くことがない。

【0051】また、折線34aと34bおよび36と36'の間の幅hの間隔を設けたので、CD2を圧迫することなく、よって、CD2にねじれ(スキュー)が発生する虞もない。

【0052】次に、内ケース3の外ケース4への収納について説明する。

【0053】内ケース3の外ケース4への収納は、外ケース4の内ケース挿入口5から内ケース3をそのCD設置パネル28と内ケース底面パネル27との折線31a、31a間から挿入する(図11参照)。

【0054】このとき、内ケース3の係止片33と外ケース4の脱落防止片11とはそれぞれの折線31a、31a、13g間からスライドさせて挿入するため、係止片33と脱落防止片11とが引っ掛かることなく、内ケース3は外ケース4内にスムーズに収納される(図12参照)。

【0055】これにより、内ケース3を外ケース4内に収納することにより、上記CDケース1が完成される。

【0056】また、内ケース3を外ケース4内に収納しただけでは、内ケース挿入口5が開放されている状態であり、内ケース3は容易に外ケース4から脱離してしまう危険がある。

【0057】そこで、上記フラップ17をその折線13g、13hにしたがって折り曲げ、底面パネル9に形成した差込スリット24内に差し込む(図12参照)。

【0058】このとき、差込スリット24に対して直交する直交スリット25、25、25を形成しているため、差込スリット24を容易に開くことができ、フラップ17の差込部19の差込スリット24への差し込みを容易に行うことができるようになっている(図13、図15参照)。また、差込スリット24の長さを上記フラップ17の差込部19の左右幅とほぼ同じ又はやや小

さく形成しているが、フラップ17の差込部19をやや湾曲させて差込スリット24に差し込むようにすれば容易に差し込むことができる。

【0059】また、図示は省略したが、差込スリット24をスリット幅をやや大きくするようにすれば、さらに、その差し込みを容易にすることができる。

【0060】これにより、外ケース4の内ケース挿入口5がフラップ17により覆われることにより、内ケース3が外ケース4から抜け出ることはいない。

【0061】さらに、差込スリット24に差し込まれたフラップ17はその差込部19の左右幅が差込スリット24の左右長さとはほぼ同じ又はやや大きく形成されており、また、くびれ部20が形成されているため、一旦、差し込まれたフラップ17は差込スリット24から容易に抜け出すことはなく、当該CDケース1をその内ケース挿入口5を下方に向けたなり、揺すったりの場合でも、内ケース3が外ケース4内から容易に抜け出ることはいない。

【0062】図14及び図16はフラップ17の引掛片23を上記差込スリット24に引っ掛けた状態を示すものである。

【0063】このように、フラップ17に引掛片23を形成したので、該引掛片23をフラップ17面からやや起こすことにより引っ掛かりができ、これを差込スリット24に引っ掛けることができ、わざわざ、フラップ17の差込部19を差込スリット24に差し込むことなく、比較的容易に内ケース挿入口5を覆うことができる。

【0064】なお、この実施の形態にあっては、フラップ17の引掛片23を差込スリット24に引っ掛けるようにしたが、これに限らず、差込スリット24は別個のスリットを形成し、これに対応するように形成した引掛片23を別個のスリットに引っ掛けるようにしても良い。

【0065】そして、外ケース4内から内ケース3を引き出すには、上述したフラップ17を差込スリット24から抜き取って内ケース挿入口5を開放した後、上記底面切欠部14及び上面切欠部15から親指及び人差し指により内ケース3を把持し、内ケース3を引出方向に引き抜くことにより行う。

【0066】このとき、内ケース3をその抑えパネル29が内ケース挿入口5から露出された状態で(図17参照)、上記係止片33と上記脱落防止片11とが係止し、それ以上の引き抜きができないようになり、内ケース3の外ケース4から脱落およびCD2の落下・破損を防止することができる(図19参照)。

【0067】次に、外ケース4から所定量引き出された内ケース3からCD2及び小冊子6を取り出すときには、内ケース3の抑えパネル29を開くと同時に内ケース底面パネル27を下方へやや撓ませ、CD2及び小冊

子6を保持できるように露出させれば、容易に、CD2及び小冊子6を取り出すことができる。(図19、図20参照)。

【0068】逆に、CD2及び小冊子6を内ケース3内に入れるときは、内ケース3を外ケース4から引き出した状態で抑えパネル29を開き、内ケース底面パネル27を下方向に挟めることにより、CD2はCD載置パネル28上に、また、小冊子6は内ケース底面パネル27とCD載置パネル28との間に空間に挿入することができる(図19、図20参照)。

【0069】図21は、フラップ17の変形例を示すものであり、この変形例にかかるフラップ17Aが上記実施の形態にかかるフラップ17と相違するところは、その形成位置である。

【0070】具体的には、図21で示すように、フラップ17Aは外ケース側ブラック7Aの底面パネル9の開口側縁に舌片状に形成されている。

【0071】図示は省略したが、かかるフラップ17Aにあっても、外ケース側ブラック7Aを折り畳んで外ケース4を組み立てたときには、その内ケース挿入口5を覆うように機能し、内ケース3の飛び出しを有効に防止することができる、延いては、CD2及び小冊子6の落下を防止することができる。

【0072】図22は、フラップ17の別の変形例と差込スリット24の変形例を示すものである。この別の変形例にかかるフラップ17Bが上記実施の形態にかかるフラップ17と相違するところは、その形成位置とくびれ部20にギザギザ部37を形成した点である。また、変形例にかかる差込スリット24Bは、その形成角度である。

【0073】具体的には、図22で示すように、フラップ17Bは外ケース側ブラック7Bの底面パネル9の開口側縁に舌片状に形成され、また、そのくびれ部20Bにはギザギザ部37が形成されている。かかるギザギザ部37は、フラップ17Bを差込スリット24Bに差し込んだときに、フラップ17Bを差込スリット24Bから抜けにくくするためのものであり、これにより、外ケース4に収納した内ケース3の飛び出しを有効に防止することができる、延いては、CD2及び小冊子6の落下を防止することができる。

【0074】図示は省略したが、かかるフラップ17Bにあっても、外ケース側ブラック7Bを折り畳んで外ケース4を組み立てたときには、その内ケース挿入口5を覆うように機能し、内ケース3の飛び出しを防止する。

【0075】また、変形例にかかる差込スリット24Bは、図22に示すように、斜めに形成したものである。

【0076】かかる差込スリット24Bによれば、フラップ17Bを差し込むときに差し込みやすいという効果を有する。

【0077】図23乃至図25は、フラップ17のさら

に別の変形例を示すものである。このさらに別の変形例にかかるフラップ17Cが上記実施の形態にかかるフラップ17と相違するところは、差込部19に形成した弧状の切り込み線の向きを後方に開口する切り込み線22'とした点である(図23参照)。

【0078】したがって、切り込み線22'を形成することにより、前方に延びる扁平な被押片23'が形成される。なお、ここでいう「前方」「後方」とはフラップ17Cの2つの折線13g、13hをともに90°折り曲げて覆い部21により内ケース挿入口5を覆った状態におけるものである(図25参照)。

【0079】そして、このようなフラップ17Cは底面パネル9の差込スリット24に差し込むのではなく、直交スリット25、25'の形成によりこれらの間に形成された差込片25'、25'をフラップ17Cの上記切り込み線22'にその裏側から差し込む(図24参照)。

【0080】すなわち、上記第1の実施の形態にあっては、フラップ17の差込部19を差込スリット24に差し込んでいたが、この変形例にあっては、フラップ17Cの切り込み線22'を広げるように被押片23'を表側から裏面側へや起こし、一方、上記差込片25'、25'を内側から外側にや起こすようにして差込スリット24を広げて、該差込片25'、25'をフラップ17Cの裏側から切り込み線22'に差し込んで、これにより、フラップ17Cの被押片23'を押さえるようになっている。

【0081】このような構成により、フラップ17Cにより外ケース4の内ケース挿入口5を覆った状態をさらに簡易的に維持することができ、利便性を向上させることができる(図25参照)。

【0082】図26乃至図31は本発明収納ケースの第2の実施の形態を示すものである。

【0083】この第2の実施の形態が前記第1の実施の形態と比較して相違する点は、収納ケースに窓、密封用フラップなどを設けた点であるので、図面には要部のみを示し、また、その説明は上記相違点についてのみに行い、他の部分については図面の各部に前記第1の実施の形態に係る収納ケース(CDケース1)における同様の部分に付した符号と同じ符号を付すことによりその説明を省略する。

【0084】CDケース1Aの上面パネル8および右側面パネル10の前後方向の中央よりやや後方に寄った位置に、上方および右方に開口する矩形的窓(以下、「員数確認窓」という。)38が形成されている(図26参照)。なお、かかる「員数確認窓38」は請求項14に記載した「東部の一部に形成した窓」に相当するものであり、かかる構成は請求項14に対応するものである。

【0085】具体的には、図27に示すように、たとえ

ば、上面パネル8と右側面パネル10rの上記位置に易破断線39がコ字状に形成され、該コ字状の易破断線39の開口側は上記折線13cおよび13fにより閉塞されており、これにより、易破断線39を切除した後、切除された部分が折線13fよりCDケース1Aに連結された蓋体40として残され、該蓋体40は上記員数確認38を閉塞するようになっている。なお、かかる「蓋体40」は請求項15に記載した「開閉蓋」に相当する。

【0086】また、易破断線39は図中、太い破線で示す。また、後述する易破断線についても同じ。

【0087】なお、「易破断線」とは、手指などにより容易に切断できる「線」であり、たとえば、多数の切り込みを連続して形成したものであってもよい。また、ミシン目などが含まれる。

【0088】そして、該員数確認38が開放されること、上記上面パネル8および右側面パネル10rの一部が開放され、特に、右側面パネル10rは外ケース4の東部であり、これを開放することにより、内ケース3に積み重ねられて保持されたCD2、小冊子6の員数を確認することができる。

【0089】このような員数確認38を設けることにより、内ケース3を外ケース4から引き出すことなく、収納物(CD2、小冊子6)の員数の確認を行うことができ、非常に利便である。

【0090】なお、かかる員数確認38は、外ケース4の右側面パネル10rに形成したが、その形成位置はこれに限らず、左側面パネル10l又は背側面パネル10bであってもよい。ただし、背側面パネル10bに形成する場合には、収納された内ケース3に保持された収納物(CD2、小冊子6)までの距離が長いので、上面パネル8に比較的に長い窓を形成することになる。

【0091】また、員数確認38は収納物(CD2、小冊子6)の員数を確認するためのものであり、上記蓋体40は必ずしも必須の構成ではないが、蓋体40を設けることにより、員数確認する以外のときに員数確認38を閉塞することができ、塵埃などの侵入を防止することができる。

【0092】さらに、上記員数確認38を形成するために、上面パネル8および右側面パネル10rに易破断線39を形成したが、これに限らず、あらかじめ、易破断線39の代わりにコ字状にスリットを形成しておいてもよい。

【0093】また、員数確認38は上述のように上面パネル8と右側面パネル10rに形成したが、東部、すなわち、右側面パネル10rのみに形成してもよい。ただし、収納物(CD2、小冊子6)の確認のために、上面パネル8にも連接した窓を設けることが、員数の確認をより容易に行うことができる。

【0094】CDケース1Aの上面パネル8の左側面の

前後方向の中央部よりやや前方に寄った位置に小楕円状の窓(以下、「小窓」という。)41が形成されている(図26参照)。なお、かかる「小窓」は請求項16に記載した「収納された内ケースに対応した位置に設けた窓」に相当するものであり、かかる構成は請求項16に対応するものである。

【0095】具体的には、上面パネル8の上記位置に楕円状の切り抜き部が形成され、外ケース側ブラケット7を折り曲げ組み立てたときに、該切り抜き部が外ケース4内を覆う小窓41になっている。

【0096】一方、内ケース3の抑えパネル29の先端寄り位置の右側には文字、模様などの印刷部42が設けられており、内ケース3を外ケース4内に収納したとき、該印刷部42を上記小窓41から視認できるようにになっている。

【0097】これにより、内ケース3を外ケース4に対して挿抜したときに、上記印刷部42が見え隠れして意匠的效果を醸し出すことができる。

【0098】なお、上記小窓41には、楕円状の切り抜き部としたがその形状はこれに限定されるものでなく、また、開閉蓋を設けるようにしてもよい。

【0099】CDケース1Aの下面パネル9の右側部の基端側の位置に矩形形状の窓(以下、「矩形窓」という。)43が形成されている(図27参照)。なお、かかる「矩形窓」は上記「小窓」と同様、請求項16に記載した「収納された内ケースに対応した位置に設けた窓」に相当するものであり、かかる構成は請求項16に対応するものである。

【0100】具体的には、下面パネル9の上記位置にコ字状にスリットを形成し、該スリット44の両端を結ぶ線を折線44aとして折り曲げると、下面パネル9には矩形窓43が形成されるとともに、該折り曲げられた部分が開閉蓋45となって矩形窓43を開閉することになる。なお、かかる「開閉蓋45」は請求項17に記載した「開閉蓋」に相当する。

【0101】一方、内ケース3の底面パネル27の基端寄り位置の右側には文字などの印刷部46が設けられており、内ケース3を外ケース4内に収納したとき、上記開閉蓋45を開放することにより、印刷部46を上記矩形窓43から視認できるようにになっている。

【0102】これにより、内ケース3を外ケース4に対して収納したときに、上記印刷部46を視認することができる。このようなことは、たとえば、外ケース4の表面に書ききれない情報を当該部分(内ケース3の印刷部46)に記述できるという効果を奏する。

【0103】また、開閉蓋45を設けたとき、上記矩形窓43からの塵埃の侵入を防止することができ、さらに、当該収納物(CD2、小冊子6)入りのCDケース1Aを購入しただけで、上記開閉蓋45を開放できないようにしておけば、購入した者でないと得られない情報

を記述するようにするなどの使用法が考えられる。

【0104】底面パネル9の先端縁（請求項18における「他方の開口縁」に相当する。）には、密封用フラップ47が閉塞片48を介して設けられており、該密封用フラップ47は、後述するように内ケース3が外ケース4に収納された後、上記閉塞片48が内ケース挿入口5を覆うとともに、該閉塞片48に対して密封用フラップ47を折り曲げることにより、外ケース4の上面パネル8にオーバーラップされるようになっている。なお、かかる構成は請求項18に対応するものである。

【0105】具体的には、閉塞片48は、その左右方向の長さが底面パネル9の左右方向の長さと同じでその上下方向の幅寸法は上記各側面パネル10a、10b、10cよりもやや大きく形成されており、底面パネル9との間の境界線は易破断線49に形成されており、後述するように、密封用フラップ47および閉塞片48が容易に底面パネル9から離脱できるようになっている。なお、フラップ17を密封用フラップ47内に易破断線を用いることにより形成して、フラップ17を図21のように残すようにすることも可能である。

【0106】密封用フラップ47は折線50を介して上記閉塞片48に連接され、密封用フラップ47の基端側の左右方向の長さは上記閉塞片48と同じに形成され、先端に行くにしたがいその長さを短くなるように、全体として台形状に形成されている（図27参照）。

【0107】また、底面パネル9と閉塞片48との間の易破断線49は、その左側寄り部分において上記第1の実施の形態において説明した底面切欠部14と同様な形状を切除できるように折れ曲がっており、また、該折れ曲がった部分を短絡するように直線の折線51が形成されている（図27参照）。

【0108】しかして、上記密封用フラップ47は、収納物（CD2、小冊子6）を内ケース3に保持させ、該内ケース3を外ケース4内に収納した後、上記易破断線49、折線51および折線50を折り曲げて、閉塞片48で内ケース挿入口5を覆うようにして上面パネル8にオーバーラップさせる。

【0109】なお、図示は省略したが、密封用フラップ47を上面パネル8にオーバーラップさせるときに、上記フラップ17は内ケース3を外ケース4内に収納後、内ケースの内ケース側面パネル30を覆うようにして内ケース3下面と外ケース4の底面パネル9の内側面との間に挿入しておき（図30がかかる状態である。）、この状態で、上記密封用フラップ47を上述のようにオーバーラップさせるようになっている。

【0110】そして、オーバーラップさせた密封用フラップ47は上面パネル8の口5の口5に、これにより、収納物（CD2、小冊子6）を外ケース4内に収納した状態を、他に梱包資材を用いなくても、郵便や流通過程に乗せることができる程度の梱包が可能となる。

【0111】また、このように、密封されたCDケース1Aを開封するには、密封用フラップ47の上面パネル8に対するのりづけを剥がすとともに、閉塞片48と底面パネル9との間の易破断線49により、閉塞片48および密封用フラップ47を底面パネル9から切除する。

【0112】これにより、上記第1の実施の形態にかかると同様な形状となり、その後の使用において不要なものを切除でき、使い勝手を良好にすることができる。そして、フラップ17を差込スリット4に差し込むことにより、外ケース4に収納した内ケース3を外ケース挿入口5から容易に抜けてないようにすることができる。

【0113】なお、図面に示した実施の形態は、本発明の収納ケースをCDケース1の外ケース4に適用したものであるが、本発明にこれに限らず、各種の薄型な部材に表面積の大きなもの、たとえば、CD2以外のディスク状記録媒体、テープ状記録媒体、半導体メモリなどメディアのほか、各種カード、薄型な菓子類などの収納ケースとしても適用することができる。特に、上記実施の形態においては、内ケース3を用いたものについて説明したが、本発明は内ケース3を必須の構成要素とするものでない。

【0114】また、本発明の収納ケースは板紙を打ち抜いて形成したプランクを折り畳むことにより構成したが、本発明はこれに限られるものでなく、その素材に限定されるものではない。

【0115】さらに、上記実施の形態においては、フラップ17は開口の一部を覆うように設けたが、本発明はこれに限らず、開口の全部を覆うように設けるようにしても良いし或いは、フラップ17の数を複数することとも可能である。

【0116】さらにまた、上記実施の形態においては、収納ケース全体の平面形状を矩形のものについて説明したが、これは内ケース3をスライド自在に設ける収納ケースについては必要なことであるが、収納物を、直接開口から収納するようにした収納ケースについては必須の構成要素ではない。

【0117】この他、前記した実施の形態において示した各部の具体的な形状乃至構造は、本発明を実施するに当たっての具体化のほんの一側を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されることがあってはならないものである。

【0118】

【発明の効果】以上に記載したところから明らかなように、本発明の収納ケースは、シート状部材又は板状部材を折り畳んで形成され、一の側縁に開口を形成し、該開口により収納物の出入れを行う収納ケースであって、上記開口を構成するとともに互いに対向する2つの側面部のうち、一方の側面部に折り曲げることにより上記開口を覆うフラップを延設し、他方の側面部に上記フラップ

を差し込む差込スリットを形成したことを特徴とする。

【0119】したがって、本発明収納ケースにあっては、簡単な構造であるにも拘わらず、収納ケースに収納した収納物の落下を防止することができる。

【0120】請求項1にかかる発明にあっては、フラップは延出方向の中間部にくびれ部を形成したので、差込スリットにフラップを差し込みやすくするとともに、差し込んだフラップを差込スリットから抜けにくくするという効果を有する。

【0121】請求項3にかかる発明にあっては、上記くびれ部の近傍にギザギザ部を形成したので、これがトラップとして作用し、差し込んだフラップを差込スリットからさらに抜けにくくすることができる。

【0122】請求項4にかかる発明にあっては、上記差込スリットにほぼ直交し、該差込スリットに到達する直交スリットを形成したので、フラップの差込スリットへの差込を容易にし、使い勝手の向上を図ることができる。なお、上記実施の形態にあっては3つの直交スリットを形成したが、本発明はこの数に限定されるものではない。

【0123】請求項5にかかる発明にあっては、上記フラップに引掛片を形成し、該引掛片を上記差込スリット又はこれに近傍する位置に形成した別のスリットに引掛けするようにしたので、フラップを差込スリットに差し込むことなく、簡易的に開口を覆うことができ、収納物の落下を防止することができ、さらに使い勝手を良好にすることができる。

【0124】請求項6にかかる発明にあっては、フラップで開口の一部を覆うようにしたので、フラップを開口の全長に亘り形成するとともに、収納物の落下を防止することができ、材料費の削減、形状の自由度を高めることができる。

【0125】請求項7にかかる発明にあっては、収納ケースの開口を除く周縁部に東部を設けたので、厚みのある収納物を収納することができる。

【0126】請求項8にかかる発明にあっては、収納物を内ケースに保持させ、該内ケースを抜き差しするようにしたので、収納物の出し入れのときに、直接収納物を把持する必要はなく、また、万が一、収納ケースから内ケースが落下しても、収納物が直接他のものに衝突することがなく、その破損などを防止することができる。

【0127】請求項9にかかる発明にあっては、収納ケースに対して内ケースが抜け落ちないようにする抜け落ち防止手段を設けたので、内ケースを収納ケースから抜き出すときに、誤って飛び出させてしまうことなく、収納物の損傷、破損を防止することができる。

【0128】請求項10にかかる発明にあっては、抜け落ち防止手段を、抜け落ち防止手段が、収納ケースの内側に折り曲げた折曲片と内ケースの外側に折り曲げ上記

折曲片に係合する係止片とにより構成したので、他の部位と同様に折り曲げるだけの構造であり、極めて簡単に作ることができ、コスト削減に寄与する。

【0129】請求項11にかかる発明にあっては、収納ケースの内側に折り曲げた折曲片に上記フラップを打ち抜き状に形成したので、折り畳む前のブラッキングに突出物が少なく、材料費を削減に寄与する。

【0130】請求項12にかかる発明にあっては、収納ケースが記録媒体用ケースであるので、各種CD、DVDなどのディスク状記録媒体の他、テープ状記録媒体、半導体メモリの収納ケースとして適用することができる。

【0131】請求項13にかかる発明にあっては、板状部材を板状で構成したので、安価に収納ケースを製造することができる。

【0132】請求項14にかかる発明にあっては、請求項7に記載した収納ケースであって、その東部の一部に窓を設けたので、収納物を収納ケースから引き出さなくても簡単に収納物の確認、特に、員数の確認をすることができる。

【0133】請求項15にかかる発明にあっては、請求項14に記載した収納ケースであって、その東部の一部に設けた窓を開閉する開閉蓋を一体に形成したので、上記窓からの塵埃の侵入を防止することができる。

【0134】請求項16にかかる発明にあっては、請求項8に記載した収納ケースであって、収納された前記内ケースの一部を視認できる窓を設けたので、内ケース側の表面を視認させることができ、内ケースに印刷した文字或いは模様などを内ケースの挿抜ごとに変化させることができ、意匠的效果を期待することができる。

【0135】請求項17にかかる発明にあっては、請求項16に記載した収納ケースであって、収納された前記内ケースの一部を視認する窓を開閉する開閉蓋を一体に形成したので、収納ケースの表面積の確保することができ、収納ケースの表示面積を小さくすることなく、上記内ケースに表示した文字或いは模様を視認させることができる。

【0136】請求項18にかかる発明にあっては、請求項1に記載した収納ケースであって、上記フラップが設けられた一方の開口縁と開口を挟んで対向する他方の開口縁に該開口のほぼ全面を覆う密封用フラップを設けたので、フラップを含め、開口を覆うことによりほぼ完全に開口を閉塞することができ、たとえば、これ以外の梱包を行うことなく、流通過程に乗せることができる。

【0137】請求項19にかかる発明にあっては、請求項18に記載した収納ケースであって、上記密封用フラップが設けられた開口縁に該密封用フラップを容易に離脱することができる易破断線を形成したので、開封後の当該収納ケースの使用時に余分なもの（密封用フラップ）がなく、使い勝手を良好にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】図2乃至図19は、本発明にかかる収納ケースをCDケースに適用した第1の実施の形態を示すもので、本図は内ケースを外ケースから抜き取った状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図2】内ケースを外ケース内に収納した状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図3】外ケースを展開し、内ケース側ブラックにしたものを示す平面図である。

【図4】外ケース側ブラックを折り畳んで外ケースを組み立てた状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図5】脱落防止片を後から折り畳む様子を斜め下方から見た斜視図である。

【図6】内ケースを展開し、内ケース側ブラックにしたものを示す底面図である。

【図7】図8乃至図10とともに内ケースを組み立てていく様子を示し、本図は内ケース側ブラックの状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図8】CD載置パネルを折り畳んだ状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図9】CDを載置するとともに抑えパネル、係止片などを折り畳む様子を斜め上方から見た斜視図である。

【図10】各部を折り畳んで内ケースを組み立てた状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図11】内ケースを外ケースに挿入する状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図12】内ケースを外ケースに収納してフラップを差込スリットに差し込む様子を斜め下方から見た斜視図である。

【図13】内ケースを外ケースに収納してフラップを差込スリットに差し込んだ状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図14】内ケースを外ケースに収納してフラップの引掛片を差込スリットに引掛けた状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図15】図13のXV-XV線に沿う拡大断面図である。

【図16】図14のXVI-XVI線に沿う拡大断面図である。

【図17】内ケースを外ケースから引き出して抑えパネルを開いた状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図18】図17の状態から内ケース底面パネルを下方に摺り寄せた状態を示す断面図である。

【図19】図17の状態における脱落防止片と係止片とが係止した状態を示す拡大断面図である。

【図20】図18の状態における平面図である。

【図21】フラップの変形例を示す外ケース側ブラックの平面図である。

【図22】フラップの別の変形例とともに、差込スリットの変形例を示す外ケース側ブラックの平面図である。

【図23】図24及び図25とともに、フラップのさらに別の変形例を示すもので、本図は、内ケースを外ケースに挿入する状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図24】内ケースを外ケースに収納して外ケース側の差込片をフラップの切り込み線に差し込む様子を斜め下方から見た斜視図である。

【図25】内ケースを外ケースに収納して外ケース側の差込片をフラップの切り込み線に差し込んだ状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図26】図27乃至図31とともに、本発明にかかる収納ケースをCDケースに適用した第2の実施の形態を示すもので、本図は内ケースを外ケース内に収納し、密封用フラップを閉塞した状態を斜め上方から見た斜視図である。

【図27】外ケースを展開し、外ケース側ブラックにしたものを示す平面図である。

【図28】内ケースを展開し、内ケース側ブラックにしたものを示す底面図である。

【図29】内ケースを外ケースに挿入する状態を斜め下方から見た斜視図である。

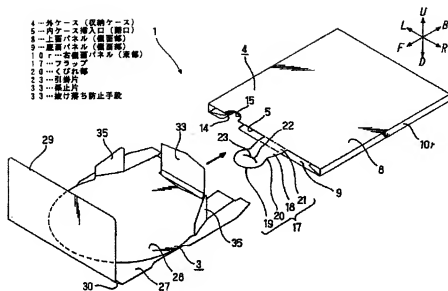
【図30】内ケースを外ケースに収納してフラップを差込スリットに差し込んだ状態を斜め下方から見た斜視図である。

【図31】内ケースを外ケースから引き出して抑えパネルを開いた状態を斜め上方から見た斜視図である。

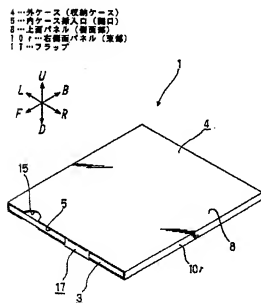
【符号の説明】

2…CD（収納物）、4…外ケース（収納ケース）、5…内ケース挿入口（開口）、6…小冊子（収納物）、8…上面パネル（側面部）、9…底面パネル（側面部）、10 l…左側面パネル（東部）、10 r…右側面パネル（東部）、10 b…背面パネル（東部）、11…脱落防止片（折曲片）、17…フラップ、20…くびれ部、23…引掛片、24…差込スリット、25…直交スリット、33…係止片、11、33…抜け落ち防止手段、17 A…フラップ、17 B…フラップ、20 B…くびれ部、24 B…差込スリット、37…ギザギザ部、38…異数確認窓（窓）、40…蓋体、41…小窓（窓）、43…矩形窓（窓）、45…開閉蓋、47…密封用フラップ、49…易破断線

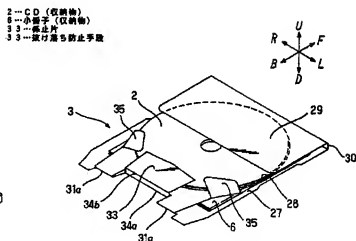
【图1】



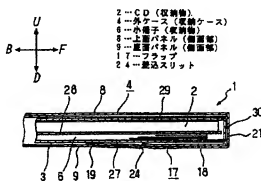
【图2】



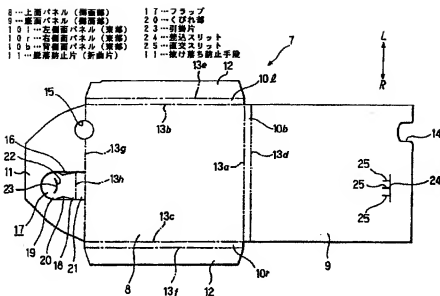
【图 10】



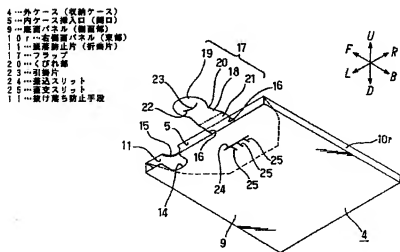
【图15】



【圖3】

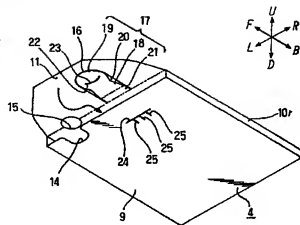


【图4】



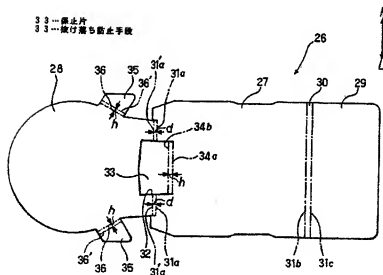
【図5】

- 4…外ケース（収納ケース）
 9…底面パネル（開閉部）
 10…前面パネル（開閉部）
 11…開閉防止片（折曲片）
 17…フリップ
 20…くびれ部
 23…引掛片
 24…差込スリット
 25…固定スリット
 11…開け落ち防止手段

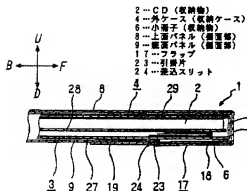


【図6】

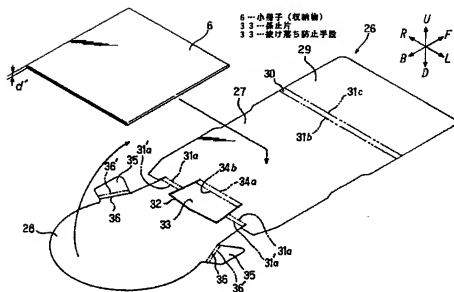
- 33…係止片
 33…開け落ち防止手段



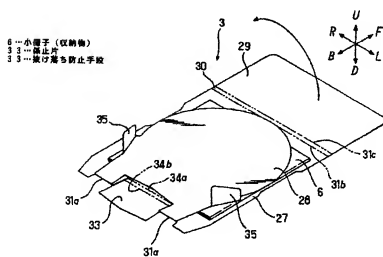
【図16】



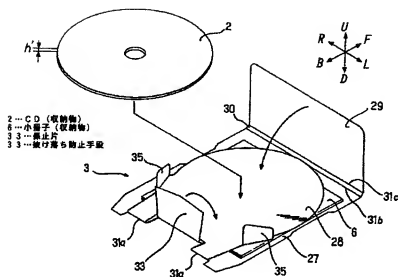
【图7】



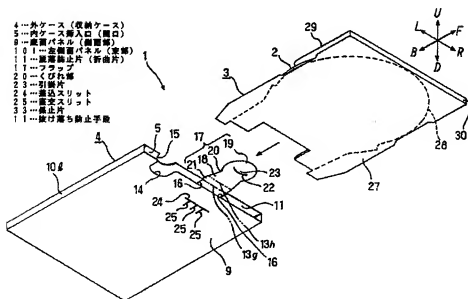
【图8】



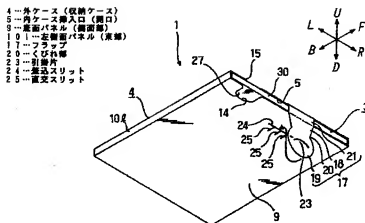
【図9】



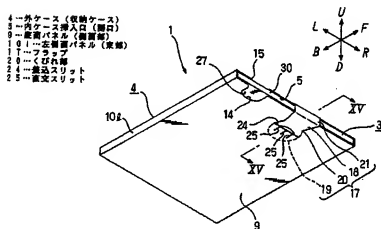
【図11】



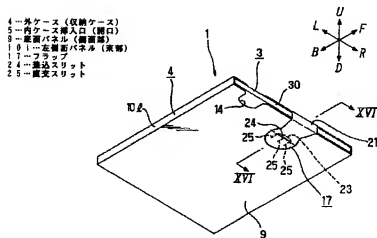
【图12】



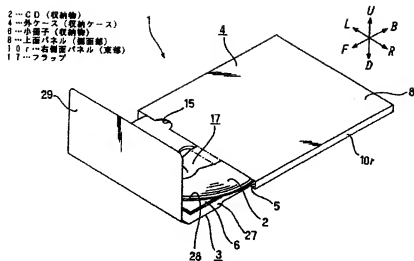
【图 13】



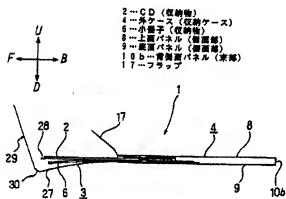
【图 14】



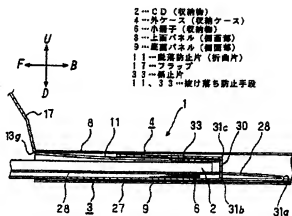
【图17】



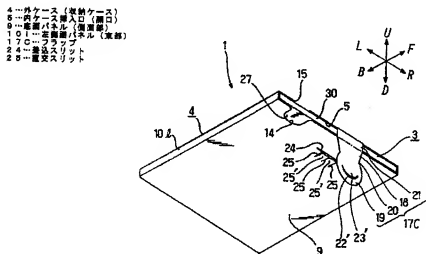
【图18】



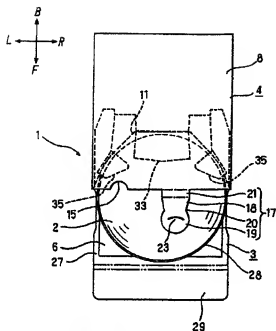
【图19】



【图24】



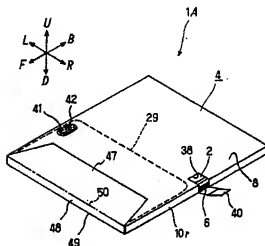
【図20】



- 2...CD (収納物)
 4...外ケース (収納ケース)
 6...小端子 (収納物)
 8...上面パネル (側面壁)
 10...左側面パネル (側面壁)
 11...底面遮止片 (折曲片)
 17...フラップ
 20...くびれ部
 23...折曲片
 33...弾止片
 11、33...受け落ち防止手段

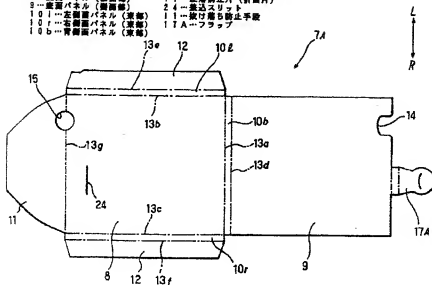
【図26】

- 2...CD (収納物)
 4...外ケース (収納ケース)
 6...小端子 (収納物)
 8...上面パネル (側面壁)
 10...左側面パネル (側面壁)
 35...底面遮止片 (底)
 40...底壁
 41...小蓋 (底)
 47...使用用フラップ
 49...底面壁

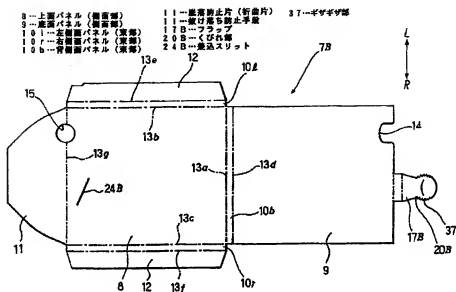


【図21】

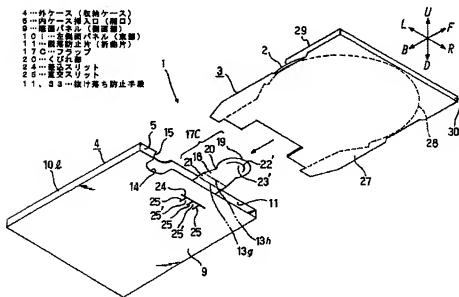
- 8...上面パネル (側面壁)
 9...底面パネル (側面壁)
 10...左側面パネル (側面壁)
 10f...右側面パネル (側面壁)
 10b...前面パネル (側面壁)
 11...底面遮止片 (折曲片)
 12...底面スリット
 13...受け落ち防止手段
 17A...フラップ



【圖22】

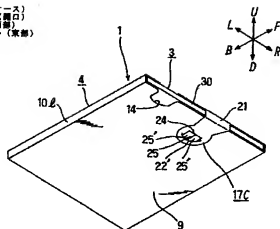


【图23】

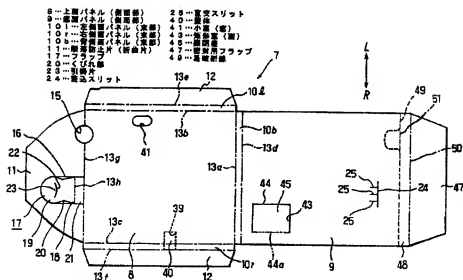


【図25】

- 4...外ケース（取替ケース）
 5...内ケース挿入口（開口）
 9...扉面パネル（扉面）
 10...主扉面パネル（扉面）
 17C...フラップ
 24...固定スリット
 25...固定スリット

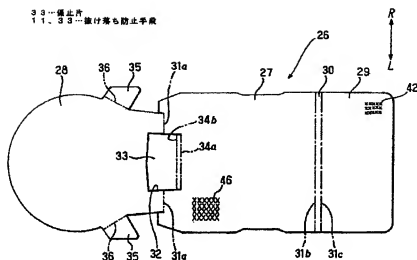


【図27】



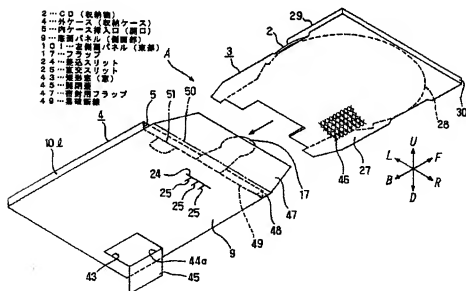
【図28】

33…係止片
11、33…掛け溝も防止手段

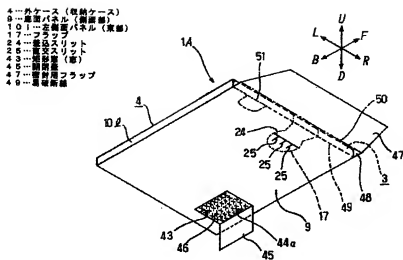


【図29】

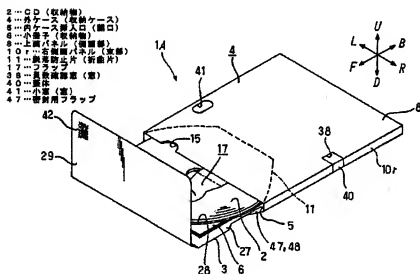
2…CD（収納物）
4…外ケース（収納ケース）
6…内ケース挿入口（開口）
9…前面パネル（前面板）
10…前面パネル（前面板）
17…フラップ
24…フラップリット
25…固定スリット（溝）
43…前面パネル（前面板）
47…前面パネル（前面板）
49…前面パネル（前面板）



【図30】



【図31】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
 B 65 D 5/54 301
 85/57
 G 11 B 23/03 601

F I
 B 65 D 5/54 301 A
 85/57 C
 G 11 B 23/03 601 A

(72)発明者 政時 民治
 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
 株式会社内

F ターム(参考) 3E036 A005 CA10 DA10 FA05 FB10
 3E060 AB01 AB32 BA06 BA08 BC04
 CB06 CB08 CE04 CE07 CE19
 CE22 DA30